

大切な水源 長寿命化

地域の未来を描こう



ふくい SDGs パートナー

企業理念は「みえないところほど美しく」。福井市大瀬町のVEEma(ヴィーマ)は、井戸洗浄再生寿命化技術(ユニバーサル洗浄工法)を持ち、県内外で井戸のメンテナンスなどを手掛け、日本の豊かな水資源や水環境を守ることを掲げる。

水資源の豊かな日本で、井戸は古くから飲み水や農業用水など広く使われてきた。現在も工業用や消雪用などで使われており役割は大きい。同社はメンテナンスを通して、大切な井戸を守っている。

経年劣化で井戸の中は汚れや砂の混入、取水口の破損などさまざまな要因で揚水量が低下する。相談は県

◆井戸のメンテナンス

ヴィーマ VEEma

福井市



ユニバーサル洗浄用のやぐらを組み、井戸に下ろす。スルの先端から出る高圧水が漏れていないか、スムーズに回転するかなどを検査する担当者(福井県内)で

外からもあり、インターネットで検索してVEEmaを知ったことがきっかけで問い合わせが来るという。同社の強みは特許を取得した「ユニバーサル洗浄工法」にある。井戸洗浄では洗浄ノズルから超高圧水を噴射させ、高速回転させながら汚れを落とす。井戸の機能を回復させることで、長く使用することができ

る。井戸にとっては「お医者さんと一緒」と、鈴木和男社長は役割を話す。

豊富な設備をそろえ、ニーズに応える。超高圧洗浄車や特殊強力吸引車、給水補給車、カメラ調査車などがあり、現場ごとに最適な方法を選択する。調査分析も丁寧に行う。井戸の場合には腐食や劣化の進行、破損の有無などを確認して洗浄の計画を立てる。工事の前

後にはカメラ調査も行い、不具合のある部分や洗浄効果の確認をしていく。

メンテナンスを施すことで井戸の寿命をより長くすることは、新しく井戸を掘るよりも費用の軽減につながる。鈴木社長は「簡単に掘り直しはできない。長く使うにはどうすれば良いのか。長寿命化は必須」と訴える。

井戸は現場ごとに「一つ一つの状態が違う」と鈴木社長。それだけにメンテナンスを行う側の「経験が大事。思いを持って向き合う」と力を込める。人々の暮らしがどれだけ変化しても人間は地下水の恩恵を受け続けている。同社は自然の恵みを守り、未来へとつなげる。

(中場賢一)

メモ

1981(昭和56)年に創業し、ハウスクリーニング事業を開始。95年に「ピーエス・ハウスクリーニング」を法人化させ、パイプクリーニング事業部として「パイプ美人」を新設した。98年に井戸洗浄業務に参入し、2012年に「VEEma」へ商号変更。21年には北陸技術交流テクノフェアに出展した。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

